

伝えよう、三計と半九の教え

平成30年度10号(10・11月号)

そっ けん

# 息軒だより



発行 宮崎市安井息軒記念館  
管理 NPO 法人 安井息軒顕彰会  
理事長 若友 弘子 館長 川口 眞弘  
〒889-1606  
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1  
e-mail: sokken.yasui@pic.bbiq.jp  
http://yasuisokken.qcweb.jp/

所在地 宮崎市清武町加納甲 3378-1 電話 : 0985-84-0234 FAX: 0985-84-2634

## 「半九」の精神を貫いた安井息軒

日本を近代国家に導いた知の巨人、安井息軒は明治9年9月23日、安らかに息を引き取ります。もともと視力は弱かったのですが、弱った目と身体で最後の最後まで子々孫々に自らが培った智慧と想いを伝えるため『睡余漫筆』を書き綴ります。太く長く生き抜くことで幾多の偉業を達成した77年の生涯でした。

息軒は晩年自ら「半九」(はんきゅう)と号しますが、これは中国の古典『戦国策』の中にある「百里の道をゆくものは九十里をもって半ばとす」からとったものです。この言葉の意味は、「物事を成し遂げるには最後が肝要なので、九分と考えずようやく半ばだと考えて、最期まで努力を続けるように」という意味です。息軒は自ら「半九」の精神を体現しました。

宮崎市清武町ではこうした安井息軒並びに後に続く先人たちの偉業を引き継ぎ、顕彰するために、命日に宮崎市安井息軒記念館で「先人祭」を開催しています。今年も宮崎市長様やご遺族の安井紀子様はじめたくさんのご遺族やご来賓の皆様がご来館され、先人の遺徳を偲びました。



## 「安井息軒と安井文庫」

### ～ 講演会 慶應義塾大学 高橋 智教授講演～

先人祭の日は例年終了後、「安井息軒記念講演会」を開催しています。今年は久々に高橋智教授に登壇願いました。同日はちょうど日曜日、ほとんどの小学校がこの日に運動会を設定していて、受講したくてもできないという方がたくさんおられ、どの程度ご参集願えるか不安の中での講演でしたが、清武文化会館小ホールには100人を超える受講者に訪れていただきました。

教授は現在同大学文学部教授ですが、長年同大学の「斯道(しどう)文庫」で文献の整理や研究を続けてこられた教授です。斯道文庫は膨大な蔵書を誇る慶應義塾大学の至宝で、その中には安井息軒と父滄洲、孫の小太郎の7,000点以上の貴重な文献も含まれており、教授はその「安井文庫」の研究にも携わっていただいています。また「安井息軒記念館」の前身である「きよたけ歴史館」の創設の際もご相談に応じていただき、さまざまな資料をご提供いただいている教授です。

今回教授は「安井文庫」が資料散逸を免れた貴重な文庫であること、安井息軒は江戸期の儒学のすべてを包含した幅広く奥深い素晴らしい学者であることを改めて示してくださり、わたしたちに更なる息軒顕彰への希望と勇気を与えてくださいました。

